

# オンラインライブ中継による東京・名古屋・大阪同時開催

制度対応の効率化と経営管理への活用に向けて

## 内部統制の効率化・高度化に向けた実践的方策

主催：(社)企業研究会 / 協力：TAC(株)

### 《開催要領》

#### 東京会場

- 日時● 2014年11月21日(金)  
10:00~17:00
- 会場● 企業研究会セミナールーム  
(東京: 麹町5丁目)

#### 名古屋会場

- 日時● 2014年11月21日(金)  
10:00~17:00
- 会場● TAC名古屋校  
(名古屋: 名鉄バスターミナルビル9F)

#### 大阪会場

- 日時● 2014年11月21日(金)  
10:00~17:00
- 会場● TAC梅田校  
(大阪: 梅田センタービル5F)

### 《オンラインLIVEセミナーとは》

当セミナーは、講師が来場する東京会場をメイン会場として、その模様を名古屋会場・大阪会場に中継致します(名古屋会場・大阪会場への講師の来場はありません)。中継については、TV製作会社である(株)東通が担当し、双方向コミュニケーションにより、名古屋会場・大阪会場からの質疑応答も可能です。  
(裏面のご案内もご覧ください)

#### 講師

KPMGコンサルティング(株)

マネジャー 岡部 貴士 氏

#### 講師紹介

2000年大学卒業後、大手銀行にて融資審査、外為、営業活動等に従事する。その後、外資系金融機関にて投資信託および年金ファンドの経理業務を経て、2005年にKPMG ビジネスアシュアランス株式会社に入社。KPMG入社後は、主に国内外の様々な業種のクライアントに対して内部監査、米国企業改革法対応・内部統制報告制度対応や内部監査態勢の高度化に関する支援サービスに従事。直近では、大手商社の内部統制評価支援に参画している。あずさ監査法人を経て、現職。米国公認会計士(イリノイ州)、公認内部監査人(CIA)。



### 《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

■『東京会場』受講料 1名(税込・昼食代含む)

(申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。)

↓希望会場に「○」をご記入下さい。 **FAX:03-5215-0951**

正会員	41,040円(本体価格 38,000円)
一般	45,360円(本体価格 42,000円)

■『名古屋・大阪会場』受講料 1名(税込・昼食代を含みません)

正会員	39,960円(本体価格 37,000円)
一般	44,280円(本体価格 41,000円)

#### ■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからお申込み頂けます。後日(開催日1週間前~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

※最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

#### ■お申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 公開セミナー事業グループ

担当/川守田 E-mail: [kawamorita@bri.or.jp](mailto:kawamorita@bri.or.jp)

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31M Tビル 2F

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

《東京会場:141541-0202(※)》2014.11.21 内部統制効率化	
《名古屋会場:141544-0202(※)》2014.11.21 内部統制効率化	
《大阪会場:141545-0202(※)》2014.11.21 内部統制効率化	
ふりがな 会社名	
住所	〒
TEL	FAX
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	

# 内部統制の効率化・高度化に向けた実践的方策

10:00

## ■開催にあたって■

財務報告に係る内部統制報告制度が導入され、複数年が経過しました。各企業は多大な経営資源を投入しましたが、適用当初に多少の非効率を認識しながら対応した内部統制報告制度について、制度対応プロセスの費用対効果の向上や、整備・構築と評価体制のあり方を見直し、内部統制の「効率化」と「高度化」を図りたいと感じている企業は少なくありません。効率化・高度化に取り組むにあたっては、制度対応として達成すべき水準・ポイントを理解したうえで非効率な部分を減らし(効率化)、その結果生まれたリソースを企業が本来個々に持つべきモニタリングの仕組みに割り当てること(高度化)という手法が有効です。その際には、企業が制度対応を超えて内部統制・リスクマネジメント態勢をどう構築するかに関する経営者の長期的なビジョンの明確化が重要です。内部統制の効率化は、がむしやらに作業を削減すれば良いわけではなく、制度上の要点を押さえた上で、統制にかかるコストの各構成要素(整備コスト、運用コスト、評価コスト等)をそれぞれに分解して考えることが有効です。整備コストおよび運用コストを削減するには、例えば文書化のありかたの見直し、リスクやコンプライアンスに係る統合的な管理のフレームワーク構築によるプロセスの合理化、IT及び文書・データ管理ツールの合理的活用の実現といった中長期的な視野での検討が必要です。評価コストの削減は、例えば、キーコントロールや評価対象範囲の大胆な絞り込みや、サンプル数の再検討、自動化統制の比率向上等の施策が考えられます。内部統制の高度化は、内部統制が対象とするリスクの範囲の拡大や、より経営管理と一体となったリスク管理活動の構築等によって達成されます。また、ガバナンス、リスク、コンプライアンスに係る統合的な管理のフレームワークを経営に取り入れ、これらの活動の最適化を目指す取組みを行うことも内部統制の効率化・高度化の双方を実現する中長期的取組として検討に値します。

## ■プログラム■

### 1. 内部統制の効率化・高度化の必要性

- (1) 効率化・高度化の目的・必要性
- (2) 求められる高度な経営課題に関するリスク管理の仕組み
- (3) 現場で起こっていること(内部統制報告制度対応にありがちな課題)
- (4) 内部統制報告制度対応を経営管理の向上に活かすために

### 2. 「プロジェクト体制・事務局機能」効率化のポイント

- (1) レビュー対象例
  - ・体制、報告先、アウトソース戦略、予算管理、事務局機能等
- (2) 制度対応作業プロセスごとの効率化の切り口

### 3. 「内部統制」自体の効率化のための各視点とポイント

- (1) 内部統制にかかるコストの構成要素
- (2) 内部統制の「整備コスト」削減のポイント
- (3) 短期的対応(過剰な文書化要求の見直し、会計以外の統制の文書化の不要化、文書類の管理方法の見直し等)
- (4) 中長期的対応(CAATS/文書管理ツール等のITツールの活用による文書管理作業の効率化等)
- (5) 内部統制の「運営コスト」削減のポイント
- (6) 分析的手続等のモニタリング手続の一層の活用
- (7) 全社統制・IT統制の充実化による運用コストの低減
- (8) 統制評価目的のみの帳票作成の見直し等
- (9) 内部統制の「評価コスト」削減のポイント
- (10) 評価対象コントロール数の削減
  - ・評価範囲の見直し、キーコントロールの削減、システム統制等の拡充
- (11) 1コントロール当たりの評価負荷の削減
  - ・サンプル数の見直し、認識すべき不備の定義見直し等

### 4. 内部統制・モニタリング機能の高度化

- (1) 財務報告以外のリスクへの取組の拡大
- (2) 有効なモニタリング機能構築(事前の不正兆候検出等)
- (3) 経営管理と一体となったリスク管理体制の構築の重要性(経営陣の関与)
- (4) リスク・コントロール管理の一元化(「GRC」のコンセプト紹介)

## ＝ ご案内 ＝

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。  
※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。  
※名古屋会場、大阪会場のご昼食につきましては、ご参加者の皆様が各自、セミナー会場近隣の飲食店にてお召し上がり頂く形となります。

※セミナー中、映像及び音声のトラブルがあった場合は、下記の通り対応をさせていただきますので、ご了承の上、お申込をいただけるようお願い申し上げます。

■映像など切断した場合、再接続してから講義を再開致します。

■接続が回復できない場合、もしくは音声が届かなくなるなど 配信品質が著しく低下した場合、受講料を返金させていただきます。

17:00